

2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [Sherry 英語教室] 担当教諭名 [塩飽 隆子] (小学校4-6年生 8名)

相手国・地域 [スイス]

海外学校名 [Scuola Vivante] 担当教諭名 [Paige Rieder/Karin Stenz]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	英語	世界に友だちと想いを伝え合おう	20
	課外活動	お互いの想いを形にしよう	8

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	想いを伝えればみんな友だち！
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	<p>Respect to other cultures connects people closer! Good communication beyond differences makes us HAPPY and the world PEACE! 違いがあっても想いを伝え合えば、分かり合える！ 相手を大切に思う気持ちで話をすれば、お互いがハッピーになれる！ みんながハッピーになれば、世界が平和になる！</p>




■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの地域のことを紹介することであらためて地域の良さに気付いた。 ・スイスのことを具体的には何も知らないことにハッと、自分たちから積極的に相手のことを聞こう、知ろうとする態度が生まれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手が秋休みの時の時間の使い方をもっと工夫していたら、お互いの文化を知ることによってどういう意味があるのかについてもっと話し合いを深められたのではと反省している。 ・スカイプで直接やり取りができなかったことは残念だった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・スイスは遠い国だと思っていたけれど、国も人もずっと身近に感じられるようになった。 ・知らない世界を知ることや、世界に友だちをつくるのが平和につながるかもしれないと思えるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の子どもたちにとっては、まずは世界と出会うこと、リアルに存在する相手とやりとりを交わすことに意味があることをあらためて感じた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	夏休みにスイスのことを調べ、自己紹介に書く内容を日本語で準備した。9月に自己紹介カードを英語で作成し、自己紹介ビデオを作成してフォーラムにアップした。	・自己紹介を英語で書く時にネットの翻訳ソフトを使わせたら興味を持って積極的に取り組んでいた。 ・ビデオは自分の特技を撮ったので大変盛り上がった。	英語5
共有 テーマ学習	10月	地域の文化紹介をまず日本語で作成し、ネットの翻訳機能を使って英語にして紹介した。相手に教えてもらったことに質問をして理解を深めた。	・写真+英文でそれぞれ違った文化や行事を紹介した。英語で説明は難しかったが翻訳ソフトをうまく使えた。 ・スカイプで発表できなかったのが残念そうだった。	英語7
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月	お互いの違いを知ること、それを理解することにどういう意味があるのかを話し合い、両方の想いを合わせたメッセージを作成した。	・世界の人を理解するとはどういうことか真剣に考えていた。	英語6
創造 壁画制作	12月	地域の伝統的な文化や行事と自然を周りに配し、相手との「つながり」を表現するために中央に一緒にサッカーをしている場面を描いた。	・自分たちのことを絵で伝えようと熱心に取り組んだ。 ・サッカーで相手との「つながり」を表現できたことに満足していた。	課外活動 8
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	相手の新聞記事を見ながらみんなでこれまでの活動を振り返った。自分の世界の見方がどう変わったか作文を書いた。	 <p>相手の国で自分たちの活動が評価されていることに誇りを感じていた。</p>	英語2

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	地域や日本の文化を紹介する際に、一人一人が本当に自分が関心を持っていることを紹介して理解を深めることができた。
異文化を理解する力	4	相手から教えてもらったことに大変関心を示していた。いつかスイスに行ってみたい言う生徒が多かった。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	英語にする際にネットの翻訳ソフトを使ったが、回数を重ねるうちに上手に使えるようになっていった。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	3	スカイプで対面で話をしたかったが実現しなかったのが残念だった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	スイスのことを印象でしか知らなかったが、いろいろ知っていくうちに印象で決めつけるのではなく事実を知ることが大事だと気付いた。
主体的に考え行動する力	4	相手に何をどう伝えたらいいか工夫する場面が見受けられた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	クラス内では英語翻訳で困っている子がいたら助けてあげたり、絵を描くときに得意な子が苦手な子に色作りをしたりして助けてあげていた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	メッセージはみんなで見えを出し合って作ることができた。自分たちの想いを込めて絵を描くことができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	相手から送られてきた新聞記事が振り返りの好材料となり、自分たちの活動を客観的に見つめることができた。